



AMDA本部事務所で
出発の準備を進める佐
藤理事長（左）

ベネズエラ地震 医師ら2人派遣

AMDA

南米ベネズエラで起きた連続大地震の被災地支援のため、国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）は6日、医師の佐藤拓史理事長ら医療従事者2人を現地に派遣した。

ベネズエラ北西部で現地時間の6月24日、マグニチュード（M）7・2と7・5の地震が続けて発生。現地政府によると5日現在、死者3342人、負傷者1万6740人に上っているという。

佐藤理事長は、米国在住の看護師山崎秀明

さんと7日に現地で合流し、10日間程度活動する予定。被災者の外傷治療や感染症対策、子どもらの心のケアなどに当たることを想定している。

出発式がAMDA本部事務所であり、佐藤理事長は「現地で医療ニーズをしっかりと把握しつつ、救える命を守れるように一生懸命に努めたい」と述べた。

（中村啄也）